

Prime Collaboration 導入による CUCM/CUC/CUPS アップグレード

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[PCD バージョン 10.5 のアップグレード タスクのためのサポートされているリリース](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、Prime Collaboration Deployment (PCD) を使用して Cisco Unified Communications Manager/Cisco Unity Connection/Cisco Unified Presence Server (CUCM/CUC/CUPS) をアップグレードする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- CUCM リリース 10.0
- PCD リリース 10.5

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。ネットワークが稼働中の場合は、潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

背景説明

Cisco PCD は、Unified Communications アプリケーションの管理を支援するために設計されたアプリケーションです。クラスタの古いソフトウェアバージョンから新しい仮想マシンへの移行、新規インストール、現在のクラスタでのアップグレードなどのタスクを実行できます。要約すると、アップグレードと移行のタスクが自動化されます。

このドキュメントでは、PCD リリース 10.5 でのアップグレード タスクについて説明します。

PCD バージョン 10.5 のアップグレード タスクのためのサポートされているリリース

アップグレード タスク (アプリケーション サーバのアップグレードまたは COP ファイルのインストール) がサポートされるリリースは次のとおりです。

- サポートされる CM リリース : 8.6(1-2)、9.0.(1)、9.1(1)、9.1(2)、10.x
- サポートされる Cisco Unified Presence (CUP) リリース : 8.6(3)、8.6(4)、8.6(5)
- Cisco Unified CM : サポートされる IM and Presence リリース : 9.0(1)、9.1(1)、10.x
- サポートされる Cisco Unified Contact Center Express リリース : 9.0(2)、10.x
- サポートされる Cisco Unity Connection のリリース : 8.6(x) から 8.6(x)8.6(x) から 9.x9.x から 9.x10.0(1) から 10.x

設定

サーバを設定するには、次の手順を実行します。

1. クラスタ内のアプリケーション サーバをアップグレードするには、そのサーバ上で Platform Administrative Web Service (リリース 9.x 以降) または Platform Simple Object Access Protocol (SOAP) Services (リリース 8.6) が実行されている必要があります。

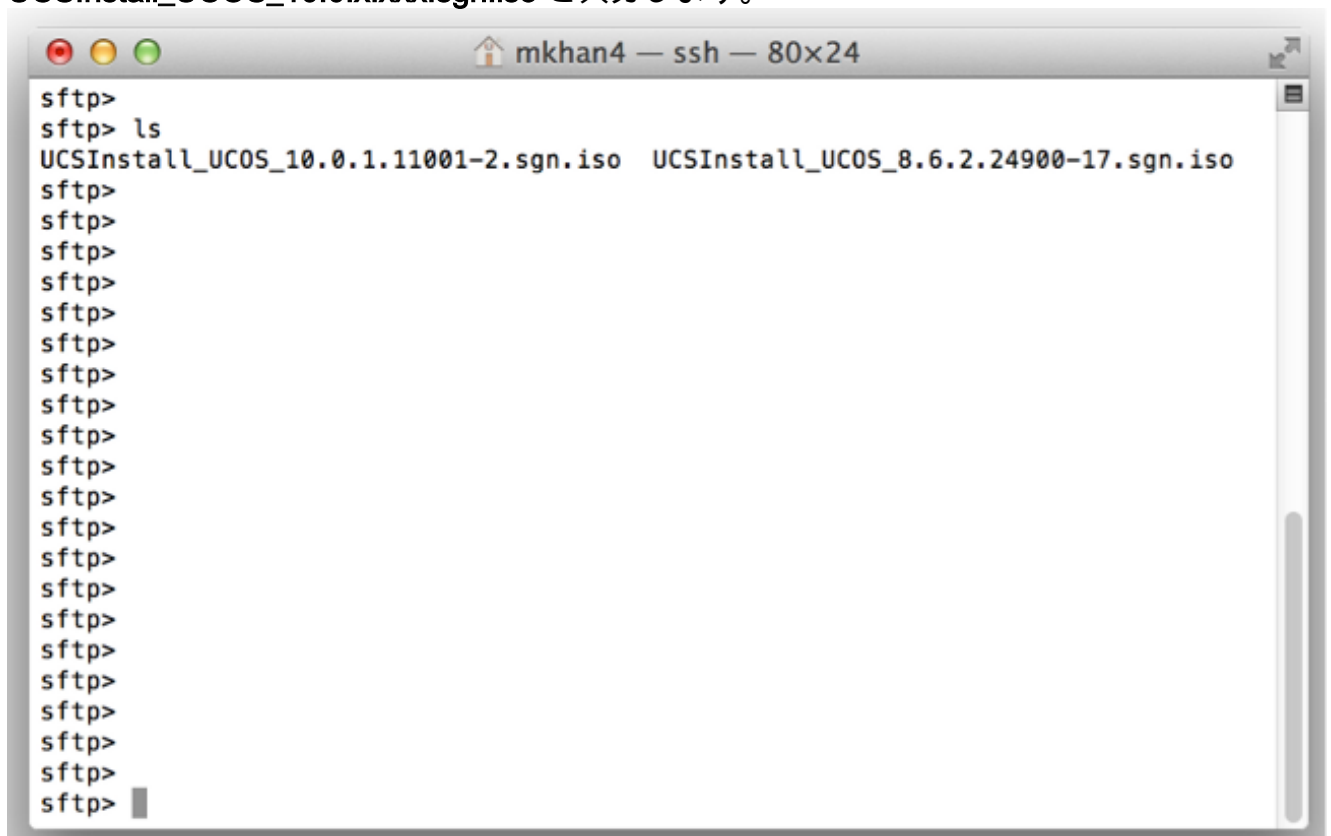
Service Name	Status:
<input type="radio"/> Platform Administrative Web Service	Running

2. Linux シェルから、`sftp admin@<Cisco Prime Collaboration Deployment server>` と入力し、パスワードを指定します (パスワードは CLI と GUI の両方で同じです) 。
3. ディレクトリを `upgrade` ディレクトリに変更します。たとえば、Linux シェルから `cd upgrade` と入力し、Return キーを押します。



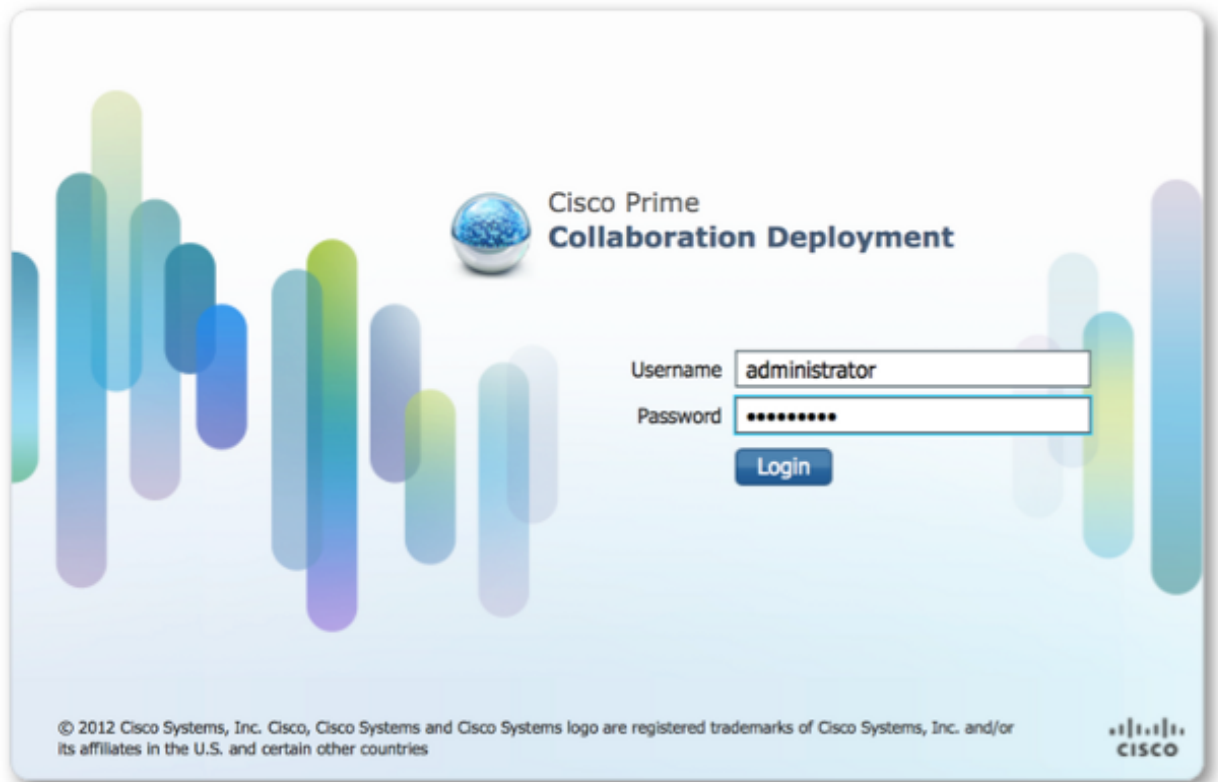
```
mkhan4 — ssh — 80x24
Last login: Thu May 22 01:27:03 on ttys000
CISCO:~ mkhan4$ sftp adminsftp@10.106.93.23
adminsftp@10.106.93.23's password:
Connected to 10.106.93.23.
sftp> cd upgrade
sftp> pwd
Remote working directory: /upgrade
sftp> put UCSInstall_UCOS_10.0.1.11001-2.sgn.iso
```

4. ISO ファイルまたは COP ファイルをアップロードします。たとえば、put UCSInstall_UCOS_10.0.x.xxx.sgn.iso と入力します。

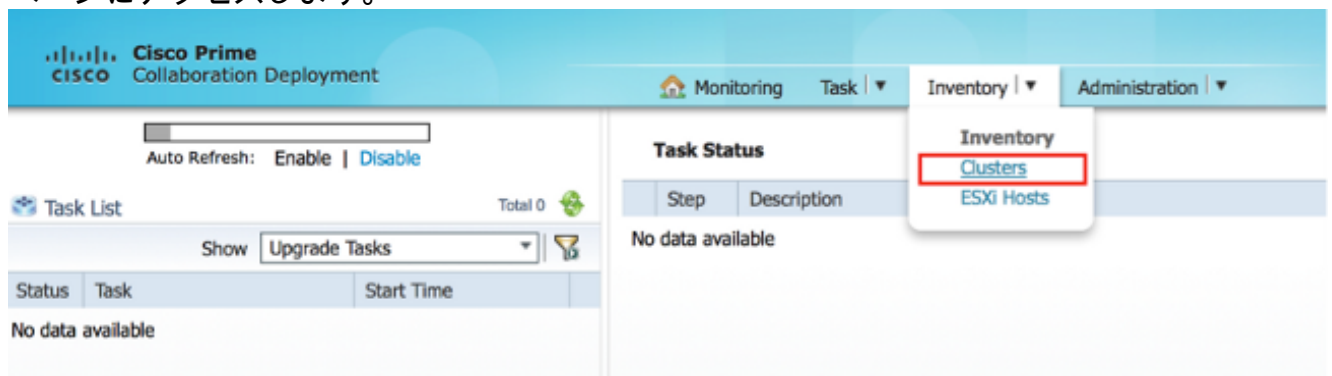


```
mkhan4 — ssh — 80x24
sftp>
sftp> ls
UCSInstall_UCOS_10.0.1.11001-2.sgn.iso  UCSInstall_UCOS_8.6.2.24900-17.sgn.iso
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
sftp>
```

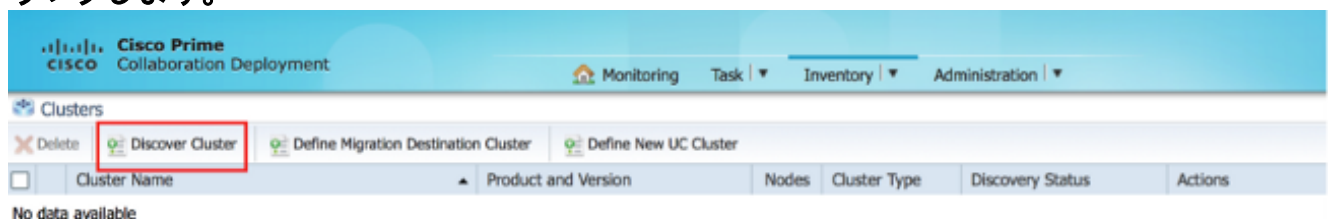
5. PCD 管理ページにログインします。



6. Cisco PCD アプリケーションのメニューから、[Inventory] > [Clusters] を選択して [Clusters] ページにアクセスします。

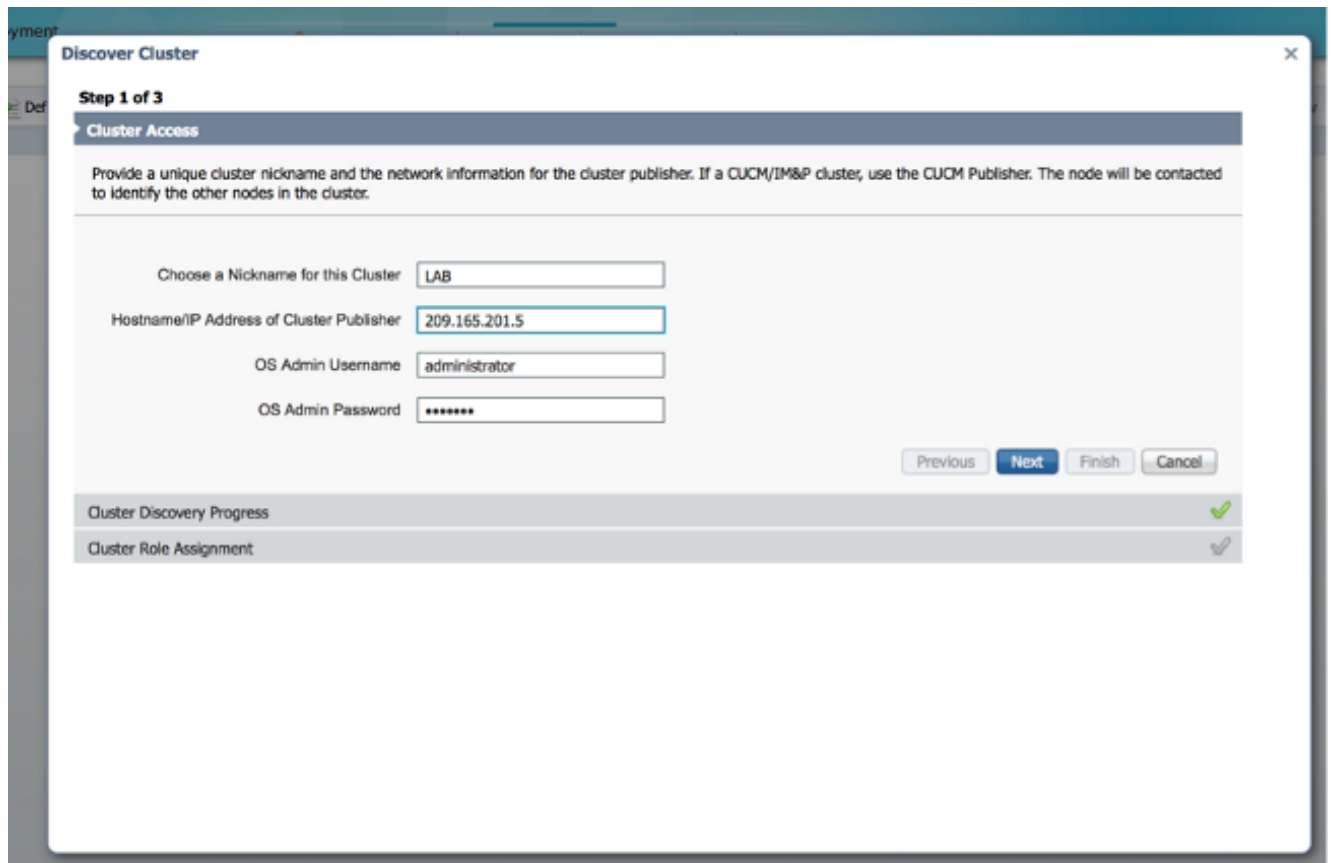


7. 現在のクラスタを検出するために、[Clusters] ページの最上部にある [Discover Cluster] をクリックします。



[Discover Cluster (クラスタの検出)] ウィザードが表示されます。

8. ウィザードの手順 1 で、必要な情報を入力し、[Next] をクリックします。



Discover Cluster

Step 1 of 3

Cluster Access

Provide a unique cluster nickname and the network information for the cluster publisher. If a CUCM/IM&P cluster, use the CUCM Publisher. The node will be contacted to identify the other nodes in the cluster.

Choose a Nickname for this Cluster

Hostname/IP Address of Cluster Publisher

OS Admin Username

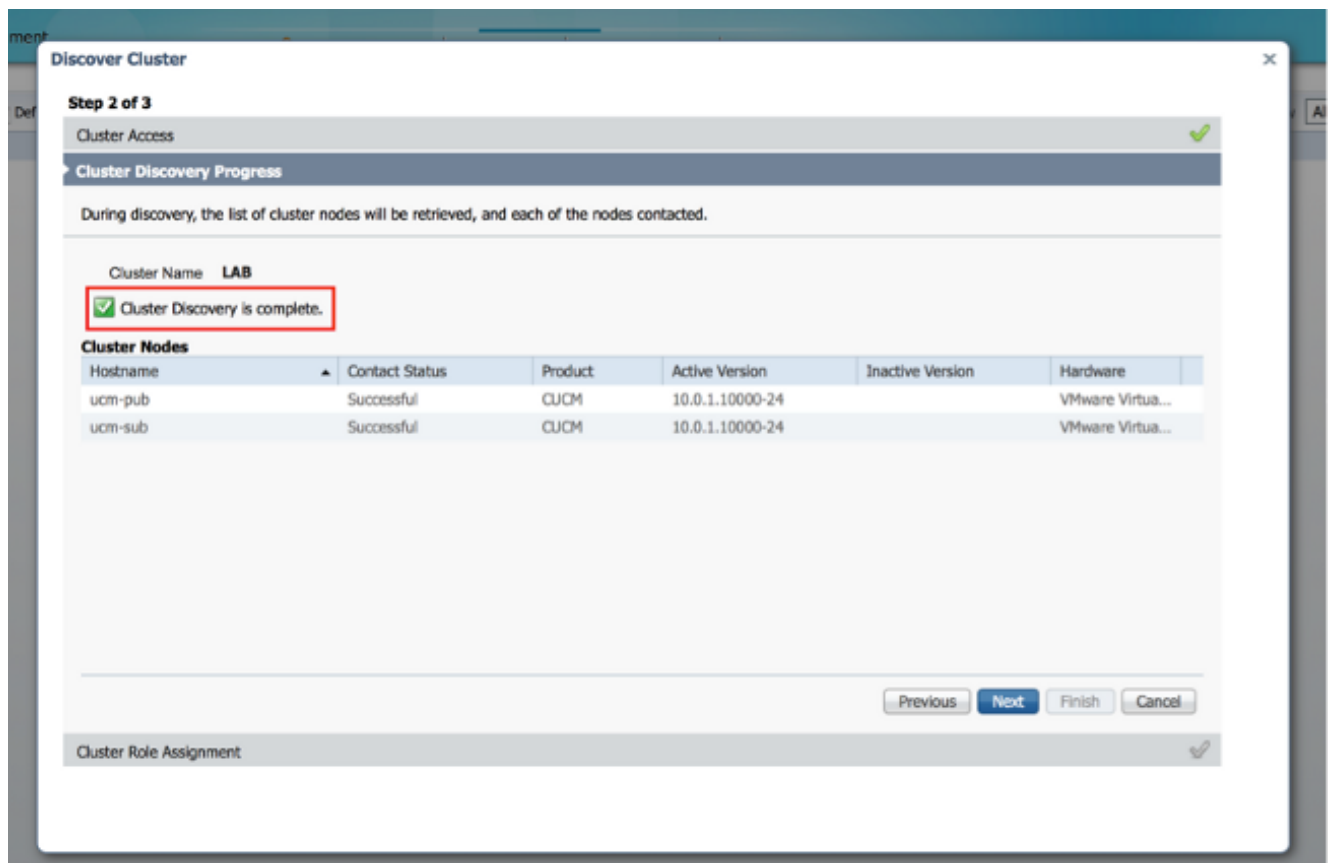
OS Admin Password

Cluster Discovery Progress ✔

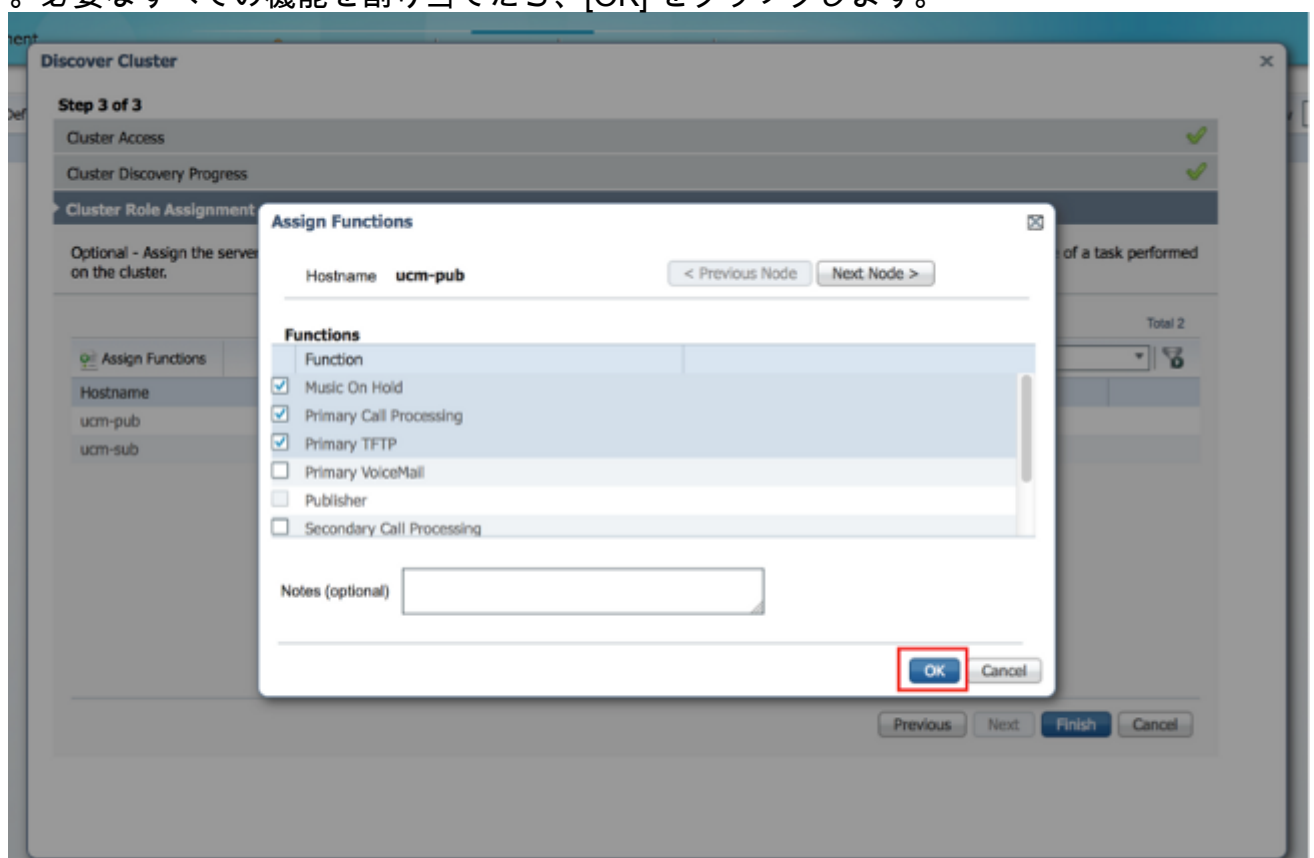
Cluster Role Assignment ✔

注：クラスタに CUCM ノードと IM and Presence (IM/P) ノードの両方が含まれる場合は、CUCM パブリッシャを入力します。検出の過程で、COP ファイル (ciscocm.ucmap_platformconfig.cop) がクラスタ内のすべてのノードのアクティブなパーティションに自動的にインストールされます。この COP ファイルはクラスタ検出プロセスに対してのみ使用され、コール マネージャにその他の影響を及ぼしません。

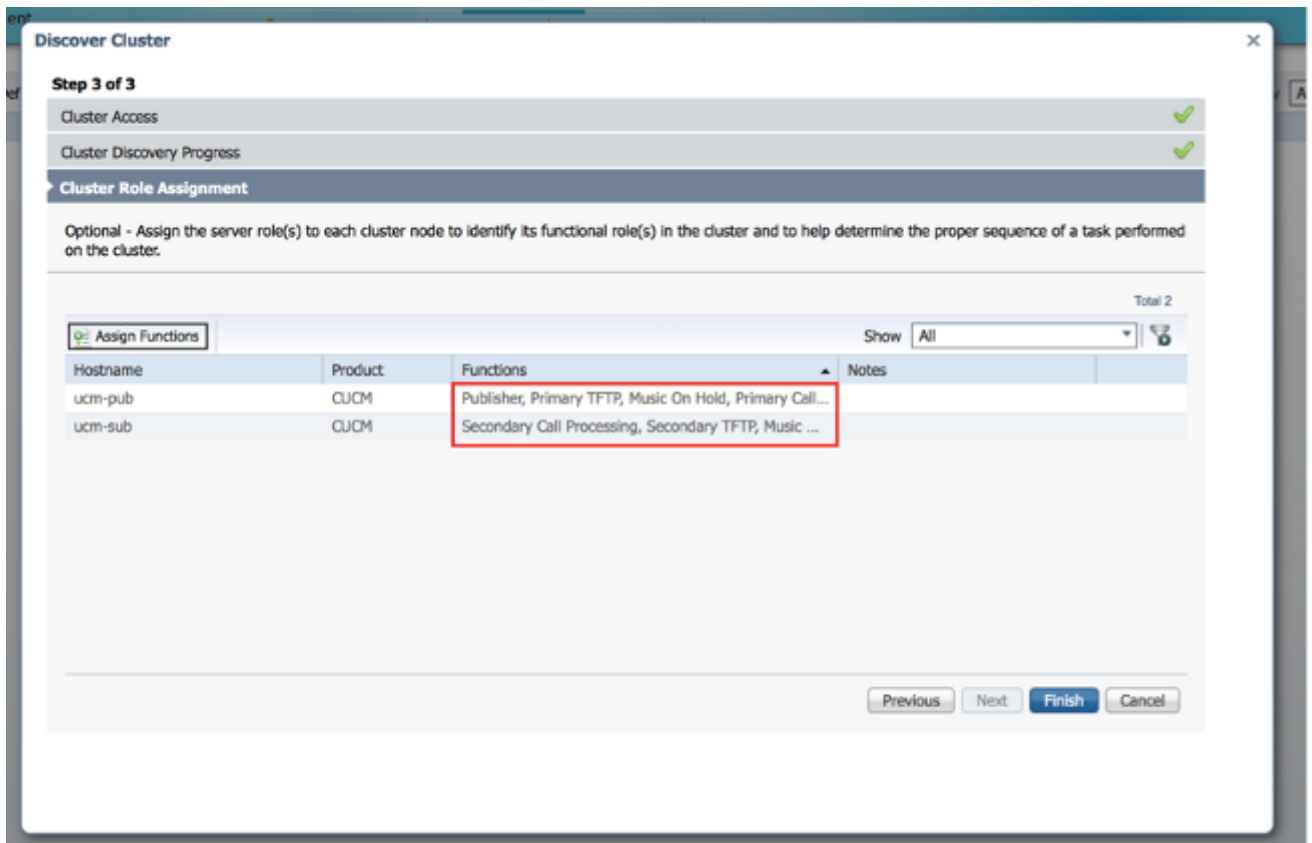
9. ウィザードの手順 2 で、Cisco PCD は、パブリッシャのサーバ インベントリからクラスタ ノードのリストを生成します。この処理には数分かかります。リストが完全に生成された時点で、「**Cluster Discovery Process is complete.**」メッセージが表示されます。完了したら、[Next] をクリックしてウィザードの手順 3 に進みます。



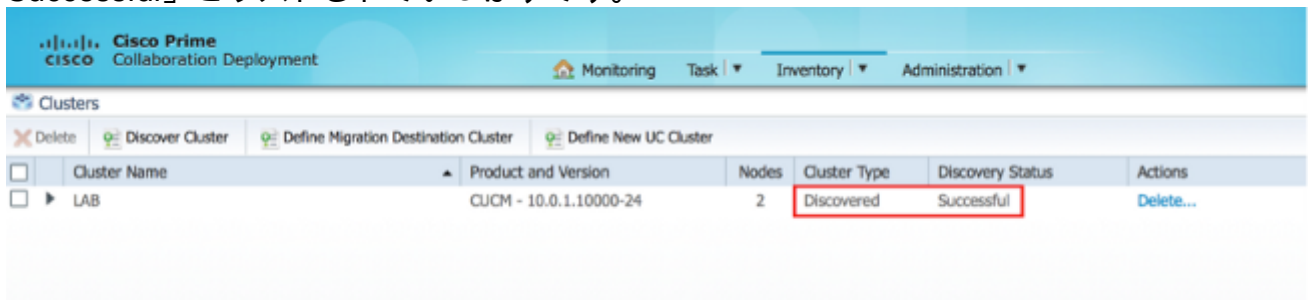
10. オプションで各クラスター ノードに機能を割り当てるには、[Assign Functions] ボタンをクリックします。[機能の割り当て (Assign Functions)] ダイアログボックスが表示されます。必要なすべての機能を割り当てたら、[OK] をクリックします。



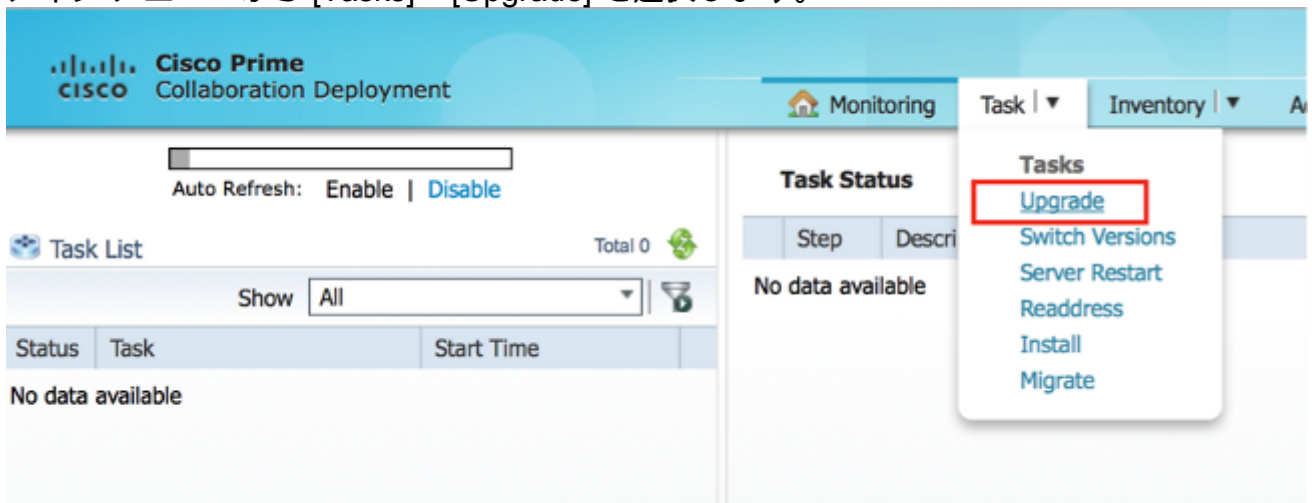
11. [Finish] をクリックします。



[Clusters] ページにクラスタが表示され、クラスタ名、製品およびバージョン、そして [Discovered] に設定されたクラスタ タイプが示されます。 [Discovery Status] には、「Successful」とリストされているはずですが。



12. メインメニューから [Tasks] > [Upgrade] を選択します。



13. [Add]、[Upgrade Task] の順にクリックします。

Jpgrade

Scheduled Tasks and History

Delete Add Upgrade Task

Status Start Time Last Status Report Time

No data available. Try adjusting the current filter or select All from the Show menu.

[Add Upgrade Task (アップグレードタスクの追加)] ウィザードが表示されます。

- [Cluster] ドロップダウン リストからクラスタを選択し、[Product] ドロップダウン リストからノードをアップグレードする製品を選択します。ノードのリストで、アップグレードに含める [Cluster Nodes] チェックボックスをそれぞれオンにします。[next] をクリックします。

Add Upgrade Task

Step 1 of 5

Choose Cluster

Choose the cluster to be upgraded. The selected version will be installed over inactive version installed on the servers

Cluster: LAB

Product: CUCM

Cluster Nodes: LAB

<input checked="" type="checkbox"/>	Hostname	Active Version	Inactive Version	Product	Role
<input checked="" type="checkbox"/>	ucm-pub	10.0.1.10000-24		CUCM	Publisher, Primary
<input checked="" type="checkbox"/>	ucm-sub	10.0.1.10000-24		CUCM	Secondary Call Pr

Previous Next Finish Cancel

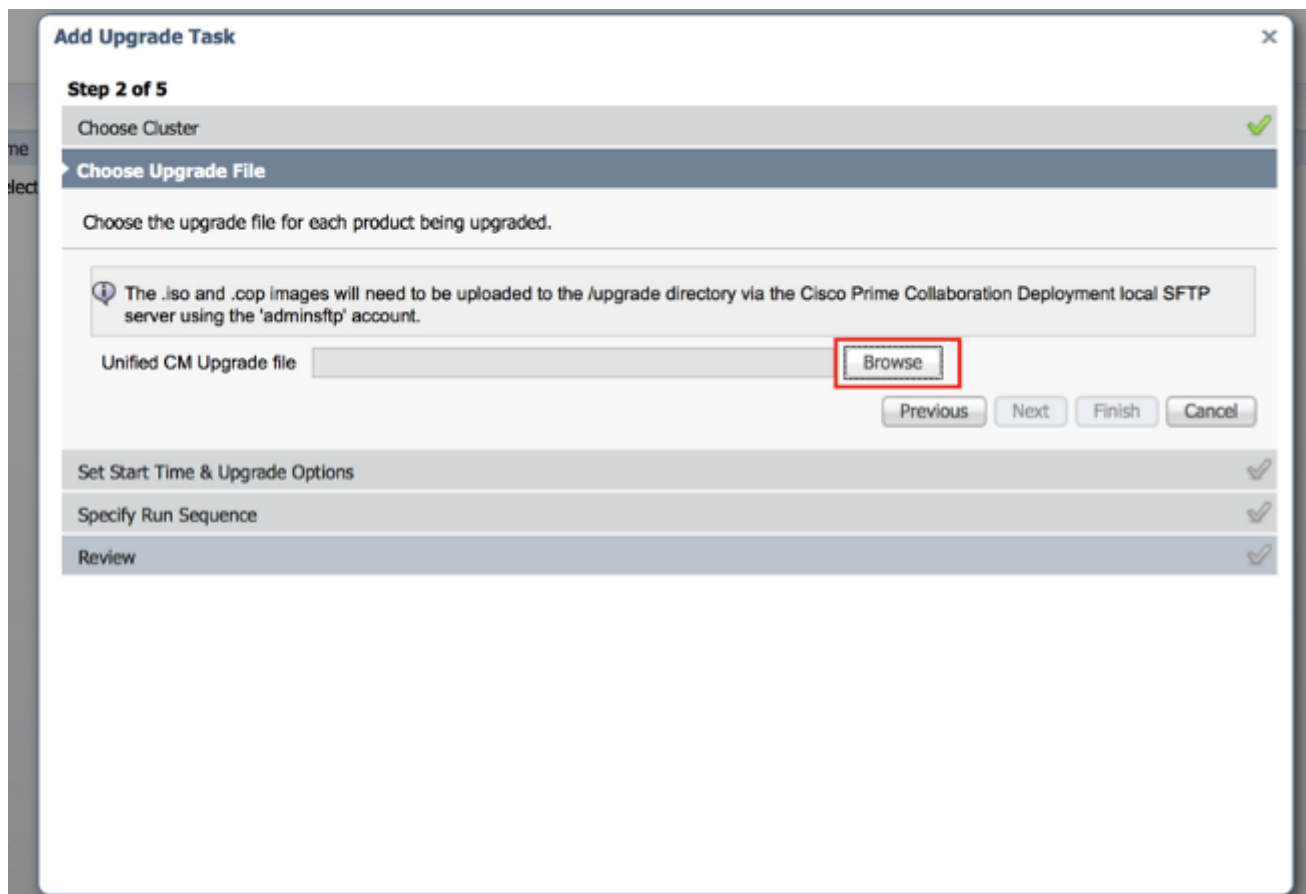
Choose Upgrade File ✓

Set Start Time & Upgrade Options ✓

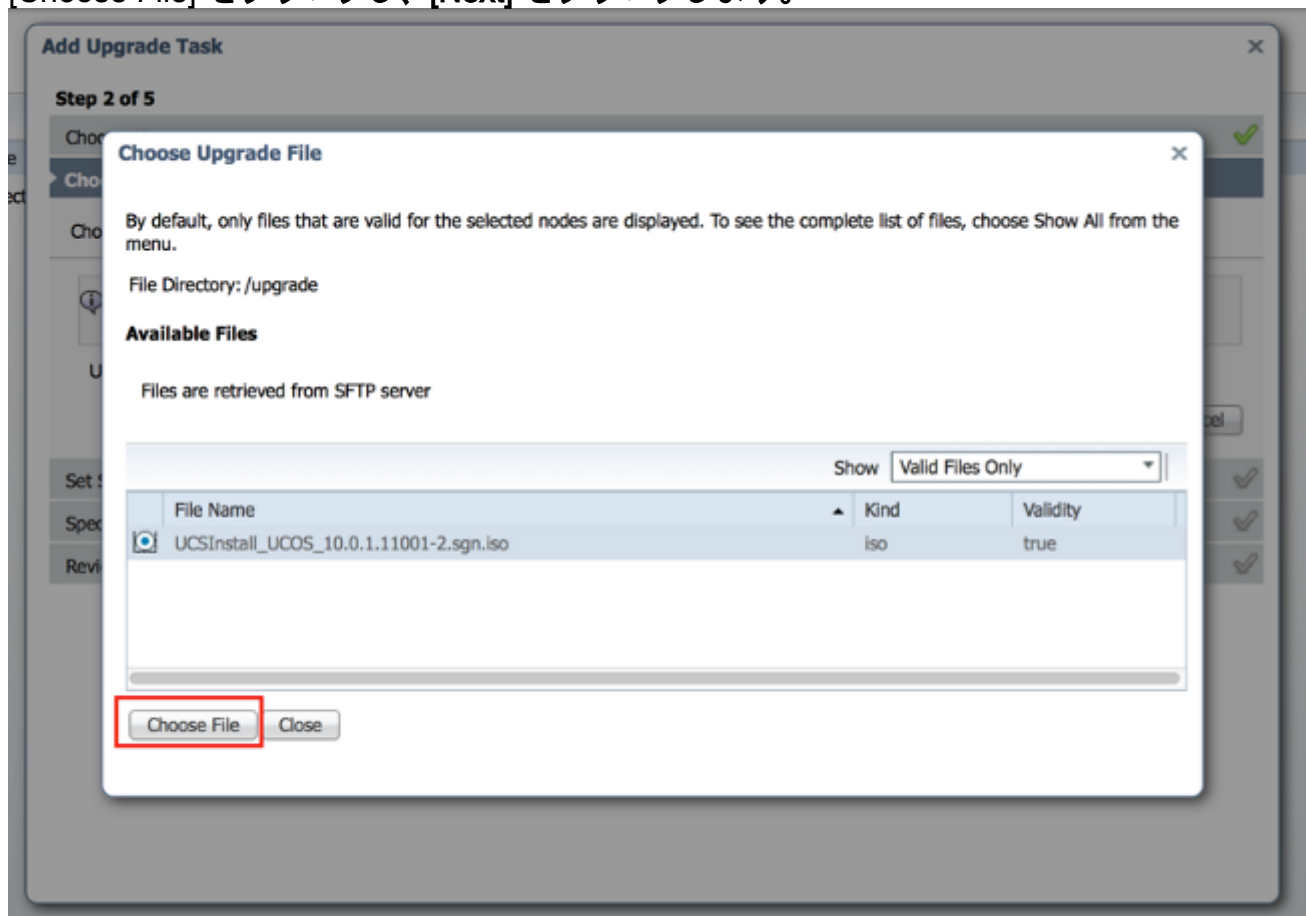
Specify Run Sequence ✓

Review ✓

- [Browse] をクリックし、ファイル サーバからアップグレード ファイルを選択します。



16. [Choose File] をクリックし、[Next] をクリックします。



注：[Next] ボタンは、有効なアップグレードファイルが選択されていないと無効になります。

17. アップグレードをスケジュールするには、以下のオプションがあります。該当するオプションのラジオボタンをクリックします。この例では、[Start task manually] を選択していま

す。[next] をクリックします。

Add Upgrade Task [Close]

Step 3 of 5

- Choose Cluster ✓
- Choose Upgrade File ✓
- Set Start Time & Upgrade Options**

Select a start time for the task and set upgrade options.

ⓘ The time zone shown here corresponds to the time zone of this Cisco Prime Collaboration Deployment server and not necessarily that of the target servers or cluster.

Start Time

- Schedule for a specific time [Calendar Icon] (IST)
- Start task manually
- Start task immediately upon completion of this wizard

Upgrade Options

- Automatically switch to new version after successful upgrade

Previous **Next** Finish Cancel

Specify Run Sequence ✓

Review ✓

注：[Automatically switch to new version after successful upgrade] オプションは、IM and Presence または Unity Connection ノードを含むクラスターでは利用できません。

- (オプション) タスクを完了するための一連の手順を指定します。これが指定されていない場合は、デフォルト オプションが使用されます。
- [next] をクリックします。

Add Upgrade Task ×

Step 4 of 5

- Choose Cluster ✔
- Choose Upgrade File ✔
- Set Start Time & Upgrade Options ✔
- Specify Run Sequence**

Specify the sequence in which upgrade is processed by the servers. If there is an error during the process, the task will be stopped. You can optionally also pause the task when a step completes.

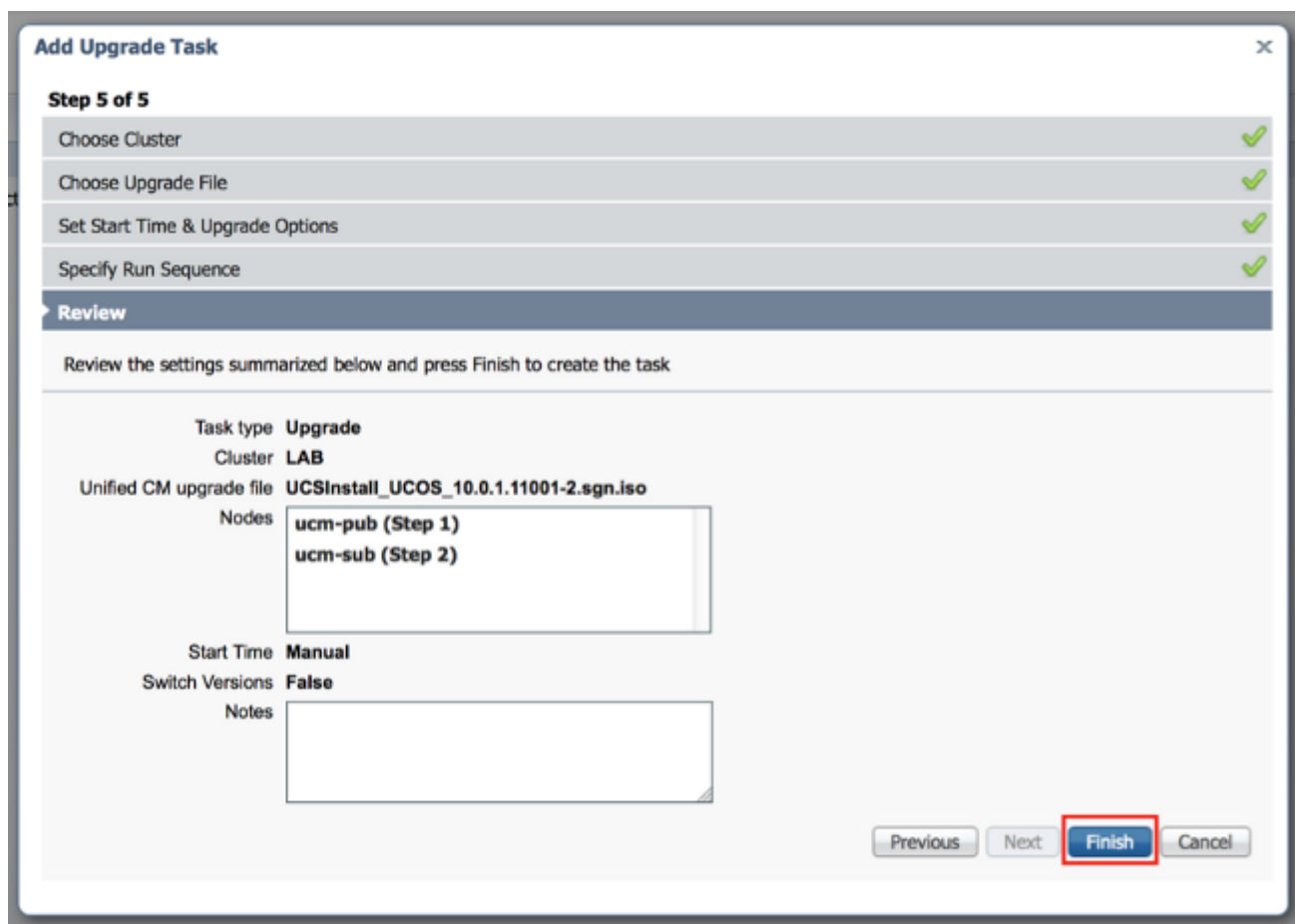
Step	Description	Upon Completion	Actions
▶ 1	Upgrade the CUCM Publisher: ucm-pub	Continue	
▶ 2	Upgrade the following node(s): ucm-sub	Continue	

Previous
Next
Finish
Cancel

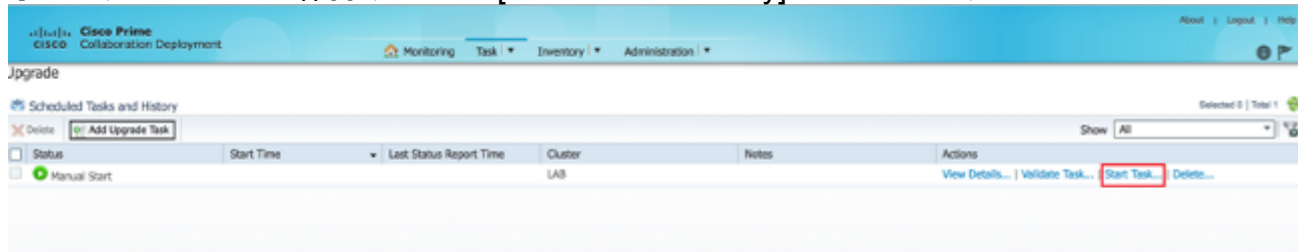
Review
✔

注：[Next (次へ)] ボタンは有効なままのため、ユーザはクリックして設定の誤りについて確認することができます。

20. 作成したタスクの詳細を確認するには、[Review] セクションを使用します。必要に応じてタスクにメモを追加できます。メモはタスクと共に保存され、タスクが完了前に編集された場合は表示されます。[Finish] をクリックすると、タスクがスケジュールされます。



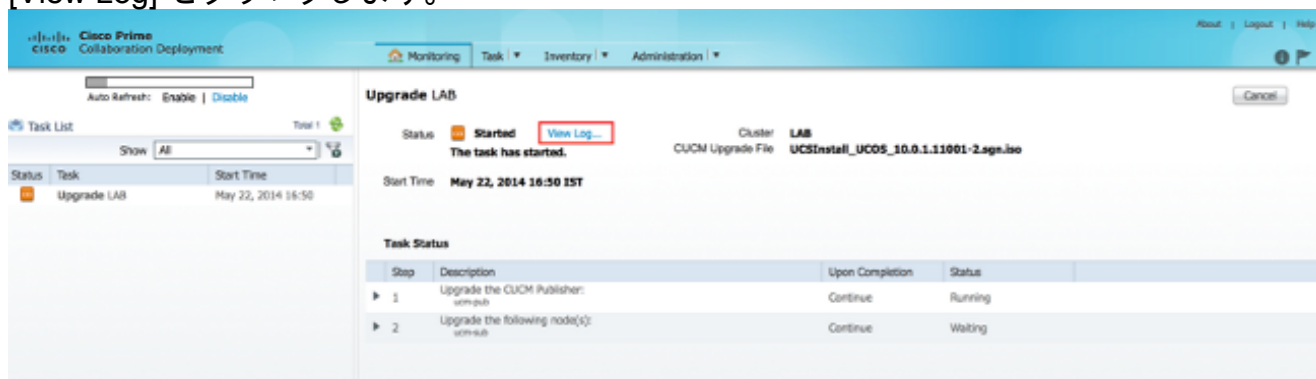
21. 手動開始でタスクを保持するには [Start task manually] を選択します。



確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

1. [Monitoring] ページを表示するには、メインメニューで [Monitoring] をクリックします。
2. [View Log] をクリックします。



[View Task Log] が表示されます。

14

View Task Log ×

Show

Timestamp ▲	Type	Messages
May 22, 2014 16:49 IST	STATUS	The task has been scheduled.
May 22, 2014 16:49 IST	INFO	Upgrade task action ID #311 with 1 node(s) scheduled.
May 22, 2014 16:50 IST	STATUS	The task has started.
May 22, 2014 16:50 IST	INFO	Upgrade task action ID #311 with 1 node(s) started.
May 22, 2014 16:50 IST	INFO	Upgrade job for node ucm-pub started.

トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに使用できる情報を示します。

アップグレード タスクの各手順の成功または失敗は、PCD サーバがアップグレード プロセスでクラスタ内のすべてのサーバから応答を受信できるかどうかによって決まります。アップグレードが失敗した場合は、Unified Communications ノードで直接 COP ファイルのインストール状態を確認します。その後のステップは、インストール ログとアップグレード ログを収集して、失敗の原因を確認することです。

インストール ログは、CLI から `file get install /*` コマンドを使用して収集することもできます。

また、PCD のメイン アプリケーション ログは、`file get activelog tomcat/logs/ucmap/log4j/*` コマンドを使用して取得できます。